

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		令和7年7月25日						
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）						
京都府福知山市宇多保市小字手次106		株式会社フレッシュクリエイター 代表取締役社長 藪井 浩平 電話番号：0773-27-1002						
主たる業種	惣菜製造業				細分類番号	0 9 9 6		
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則				<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号			
計画期間	令和5年4月から令和8年3月まで							
基本方針	令和4年を基準に、令和5年から令和7年の3年間の温室効果ガスの排出量を、毎年原単位あたり5%の削減する。							
計画を推進するための体制	管理本部の環境保全推進室と店舗企画部が協力し、省エネ活動の推進及び再生可能エネルギー使用の促進を進める。							
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量		基準年度 (令和2～4年度)	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	増減率	
	事業活動に伴う排出の量		2,231.2 トン	2,924.3 トン	2,813.8 トン		28.6 パーセント	
	評価の対象となる排出の量		2,474.6 トン	2,924.3 トン	2,813.8 トン		15.9 パーセント	
	実績に対する自己評価		エネルギー使用量が昨年対比で104.6%の実績で電気使用量が101.9%、ガス使用量が110.6%と増加と合わせて、関西電力のCO2排出係数（調整後）が昨年対比で139.5%になりCO2排出量が大幅に増加しています。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (令和4年度)	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	増減率	
		工場・事務所	3.35	4.40	4.30		29.85 パーセント	
			事業活動に伴う排出の量 <small>(延べ床面積×年間営業時間×出席人数÷10万)</small>					パーセント
			実績に対する自己評価	エネルギー使用量が昨年対比で104.6%の実績で電気使用量が101.9%、ガス使用量が110.6%と増加と合わせて、関西電力のCO2排出係数（調整後）が昨年対比で139.5%になりCO2排出量が大幅に増加しています。				
重点的に実施する取組の実施状況			基準年度 (令和4年度)	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	備考	
			0 パーセント	0 パーセント	0 パーセント			
具体的な取組及び措置の内容	令和5年度		・惣菜・精肉の舍利玉製造機、包装機等の入替え。					
	令和6年度		・鮮魚・精肉の冷凍機の入替え。					
	令和7年度		・自家消費型太陽光発電設備の設置。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容		実施しない。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価		地域的に自動車以外の交通手段がないため。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分		第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	備考		
	森林の保全及び整備によるもの		トン	トン	トン			
	地域産木材の利用によるもの		トン	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの		トン	トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの		トン	トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの		トン	トン	トン			
	合 計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・トレイ、ペットボトル、飲料の紙パックのリサイクル回収を実施し、リサイクルトレイの使用を推進。 ・魚箱等の発泡スチロールを減容処理してリサイクルの推進。 							
特記事項								

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。